

今月の御教え

目には見えないが、神の中を分けて通っているようなものである。畑で仕事をしていようが、道を歩いていようが、天地金乃神の広前は世界中である。

……「天地は語る」第七条……

解説

私が青年教師の頃、御霊地で、ある会合に参加した時の事、先ず本部広前に参拝し、お届けした際、突然、金光様（前教王四代様）から「貴方、神様は、御神前ばかりにいるのではありませんよ。教祖様が教えられているでしょう『道を歩いておろうが、云々、天地金乃神の広前は世界中である』と。…」と言われました。正に私の心の底を見抜かれた思いで赤面しました。思えば金光教教師になって十数年、この御理解はそれまでも何度も見聞きしていたのだが、今まで知っているだけで我が身に付いていなかったことを痛感するとともに、私達の信仰するこの天地の親神様は神前は勿論、何時如何なる処でも一心に願えば来て下さる神様、この天地宇宙を包み込んで下さっている神様であることを改めて分からせて頂く事が出来ました。来月、九月一日は西条教会設立記念祭（百十二年）が仕えられます。共々に信心の稽古に勤しみ御蔭を頂きましょう。